



投資環境

2025年3月12日

株式市場、投資家心理が改善すれば、徐々に回復か

▣ 投資家心理悪化により米国株は下落

10日の米国市場では、米国株が大きく下落しました。米メディアのインタビューでトランプ米大統領が関税政策や政府支出の削減による一時的な景気後退の可能性を否定しないと受け止められる発言をしたことで、市場参加者の不安心理が高まったことが背景です。11日の東京市場では、米国株の下落を受けて日本株を売る動きが強まり、日経平均株価が一時3万6千円を割り込む展開となりました。

▣ 年初から米国株や日本株は軟調、欧州株や中国株は堅調

年初から米国株は、軟調な動きが続いています。とくにテスラなど主要ハイテク株の下落幅が大きく、ハイテク株の比率が高いナスダック総合指数は年初から10%程度下落しています(図表1)。米国株は同指数が昨年約30%上昇するなど高値警戒感がくすぶっていましたが、トランプ政権の政策や米経済の減速を示唆する経済指標の発表などを受けた投資家心理の悪化をきっかけに、売り圧力が強まっているとみられます。日本株については、米国株の下落が重しとなっているほか、円高も逆風となり軟調な動きが続いています(図表2)。

一方、欧州や中国の株式市場は好調です。欧州株は、ドイツが財政支出を拡大する方針を示したことやウクライナとロシアの戦争終結への期待から堅調な動きが続いています(図表3)。中国株は、AI開発企業ディープシーク社の台頭をきっかけに、中国のハイテク企業への期待が高まり、香港ハンセン指数は上昇しています(図表4)。

図表1. ナスダック総合指数



図表2. 日経平均株価



図表3. ドイツDAX指数



図表4. 香港ハンセン指数





しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

▣ 4月上旬ごろまで不安定な動きが続く恐れ

株式市場の不安定な動きは4月上旬ごろまで続く恐れがあります。トランプ大統領は、4月2日から半導体や自動車などに対する関税を引き上げるほか、同日に貿易相手国と同水準まで関税率を引き上げる「相互関税」を発動する方針を示しており、それまでは関税政策をめぐる同氏の発言に振られる展開が続くことが想定されます。

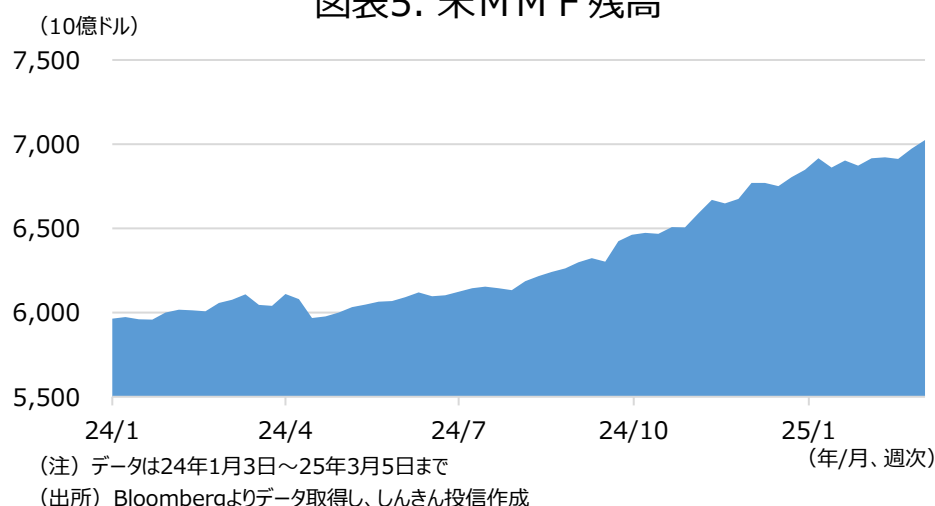
また、同政権が進める政府職員の解雇の影響が本格的に表れ始める雇用統計などの指標の発表も4月上旬に予定されており、政府職員の解雇の動きが米国の労働市場や景気にどのような影響を与えるかを見極めるため、投資家は当面、株式市場への投資に慎重になる可能性があります。

▣ 投資家心理が改善すれば、株価は徐々に回復か

トランプ政権による関税政策や政府支出削減の動きが落ち着き、リスク回避の動きが弱まると、株価は徐々に持ち直すことが期待されます。直近のマネー・マーケット・ファンド(MMF、公社債などリスクの低い資産が投資対象)の残高は高水準となっています(図表5)。先行き不透明感から、いったんMMFに資金を置いて、様子を見ている投資家が増えていることが背景とみられますが、今後不透明感が後退すると、この資金が株式市場に流入することで、株価を押し上げる可能性があります。

トランプ政権の政策を受けて、今後一時的に米景気が悪化する可能性は否定できません。ただし、トランプ政権が関税の引き上げを見送る、あるいは減税などの景気刺激策を打ち出せば、景気を支えることができます。金融政策面では、関税引き上げによるインフレ再燃リスクから、当面、米連邦準備理事会(FRB)は利下げに慎重になるとみられますが、米国の政策金利は4%以上の高水準で十分な利下げ余地があるため、需要後退によるインフレ鈍化が確認されれば、利下げを進めることで景気を浮揚させることができます。米国には、景気が悪化しても、景気を支えるための複数の政策手段があるため、長期にわたって景気が悪化するリスクは小さいとみられ、米景気の今後について、過度に悲観的になる必要はないと思われます。

図表5. 米MMF残高



(ストラテジスト 澤村一樹)



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。

※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

※投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

【お申込みに際しての留意事項】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について

(お客様に直接ご負担いただく費用)

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 上限 3.3%(税抜 3.0%)
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 上限 0.3%

(保有期間中に間接的にご負担いただく費用)

- ◆ 運用管理費用(信託報酬)・・・純資産総額に対して、上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用(手数料等)の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくお読みください。

※本資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。